

例年、関係機関のご協力を頂き開催している総合防災訓練だが、今年度はコロナ禍の影響により例年通りの想定、規模で実施できないことから、所内の人員で完結する代替訓練を10月20日（火）に実施しました。（陸上訓練、海上訓練を分けて実施。）

陸上訓練は、南海トラフ巨大地震（菊間町は震度6弱）が発生し、原油受払配管の流量調整弁上流フランジ部より2ℓ/min漏洩が発生。その後、地震発生から20分後に「津波警報」が発令されたとの想定で、関係機関への通報訓練、災害応急活動訓練（漏洩停止措置、油回収作業）、防消火訓練及び避難訓練を実施しました。

また、海上訓練は机上訓練とし、局所的なゲリラ豪雨が発生、タンク浮き屋根が傾斜したことにより原油が漏洩。漏洩した原油がガードベースンを経由し海上へ流出したとの想定で、関係機関への通報訓練、油防除訓練（オイルフェンス展開、油回収・拡散処理）を実施しました。

陸上訓練は、大規模災害発生により、関係機関の協力を得られない状況を想定した訓練を実施することにより、自衛防災活動で重要となる各班の連携を再確認することができ、海上訓練は、初めての机上訓練であったが、幾つかの課題が確認でき、双方とも効果の高い訓練となりました。



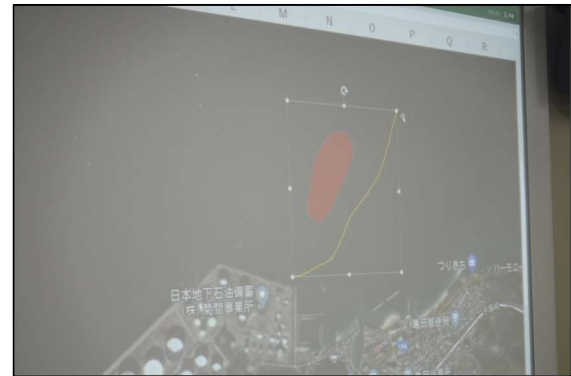
陸上訓練：漏洩停止措置、油回収作業



陸上訓練：土嚢構築準備



陸上訓練：避難完了状況



海上訓練：油流出状況（想定）



海上訓練：防災本部による情報集約



海上訓練：現場指揮所による油防除戦略検討